|  |  |
| --- | --- |
| 令和2年度（2020年度）用 | 小学校国語科書写用 |

|  |
| --- |
| 「新しい書写」  **臨時休業明けの**  **年間指導計画参考資料**  **【１年】** |

令和2年（2020年）7月版

※本資料は，令和２年度用「新しい書写」に基づいて，学校での授業と，学校の授業以外の場において取り組む学習活動を併用してご指導いただく場合の学習指導計画案を，一例として示したものです。地域や学校の状況に応じて，適宜ご活用いただければ幸いです。なお，学習内容を年度内に終えることが困難な場合は，次年度に送る等の対応も考えられます。各学校の状況に応じて，適切にご判断ください。また，次年度に送る場合には担当教員間の引き継ぎにご配慮ください。

東京書籍

「あたらしい しょしゃ 一」（第1学年）年間指導計画

・グレー部分…学校の授業以外の場において行うことが考えられる単元・学習活動

＊各単元の「観点別評価規準」は，弊社教育情報サイト 東書Eネットで公開している「令和2年度 年間指導計画作成資料」をご覧ください。

https://ten.tokyo-shoseki.co.jp/text/shou/list/keikaku.html#section1

| 単元名 | 単元の目標 | 時数 | 学習活動 | 学校の授業以外の場において行うことが考えられる単元・学習活動 |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ●あつめてつかおう，「しょしゃの　かぎ」  ①たのしくかこう  ・もじをかくしせい  ・かきやすいもちかた  ・えんぴつでかいてみよう  表紙裏～p.7  ◎学習指導要領の内容：〔知識及び技能〕⑶ウ(ア)  【用具】鉛筆 | ○１年間の学習を見通すことができる。  ○書きやすい姿勢と鉛筆の持ち方を理解して書くことができる。 | 2 | ①１年間の学習の流れを見通す。  ②書きやすい姿勢・鉛筆の持ち方を学習し，丁寧に書く態度を身につける。  【姿勢・持ち方】  ③平仮名や片仮名，漢字の点画の書き方に通じるいろいろな線を書き，運筆に慣れるとともに，書写学習への関心・意欲を高める。  ④姿勢・鉛筆の持ち方について，自己評価・相互評価をする。 |  |
| ②ひらがなのかきかた  ・かきはじめとかきおわり（「とめ」「はらい」）  p.8～9  ◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)(イ)  【用具】鉛筆・水書用筆 | ○平仮名の始筆と終筆（「止め」「払い」）の書き方を理解し，正しく書くことができる。 | 2 | ①平仮名の始筆と，終筆の違い（「止め」「払い」）の書き方を確認する。  【点画の書き方】「止め」「払い」  ②始筆と，終筆の違い（「止め」「払い」）に注意して書く。  ③平仮名の「はね」の書き方を確認する。  【点画の書き方】「はね」  ④自己評価・相互評価をする。 |  |
| ②ひらがなのかきかた  ・かくじゅんじょ  p.10～11  ◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)(イ)  【用具】鉛筆・水書用筆 | ○筆順を理解し，筆順に従って書くことができる。 | 1 | ①筆順の原則を確認する。  【書くときの動き】筆順の大原則（上から書く，左から書く）  ②筆順に注意して，筆順に従って書く。  ③文字の書き始めの位置を確認する。  ④自己評価・相互評価をする。  ○水書用紙と水書用筆等を使用して，点画の書き方を確認する。 |  |
| ②ひらがなのかきかた  ・「まがり」  p.12～13  ◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)(イ)  【用具】鉛筆・水書用筆 | ○平仮名の「曲がり」の書き方を理解し，正しく書くことができる。 | 2 | ①平仮名の「曲がり」の書き方を確認する。  【点画の書き方】「曲がり」  ②「曲がり」に通じる線の練習をする。  ③「曲がり」の書き方をほかの文字に広げて，筆順に従って書く。  ④自己評価・相互評価をする。 |  |
| ②ひらがなのかきかた  ・「おれ」  p.14～15  ◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)(イ)  【用具】鉛筆・水書用筆 | ○平仮名の「折れ」の書き方を理解し，正しく書くことができる。  ○濁点と半濁点の書き方を理解することができる。 | 2 | ①平仮名の「折れ」の書き方を確認する。  【点画の書き方】「折れ」  ②「折れ」に通じる線の練習をする。  ③「折れ」の書き方をほかの文字に広げて，筆順に従って書く。  ④濁点と半濁点の，書く位置や筆順を確認する。  ⑤自己評価・相互評価をする。 |  |
| ②ひらがなのかきかた  ・「むすび」  p.16～17  ◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)(イ)  【用具】鉛筆・水書用筆 | ○平仮名の「結び」の書き方を理解し，正しく書くことができる。 | 2 | ①平仮名の「結び」の書き方を確認する。  【点画の書き方】「結び」（横長，縦長）  ②「結び」に通じる線の練習をする。  ③「結び」の書き方をほかの文字に広げて，筆順に従って書く。  ④自己評価・相互評価をする。 |  |
| ②ひらがなのかきかた  ・ひらがなのひょう  p.18～19  ◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)(イ)  【用具】鉛筆・水書用筆 | ○平仮名を，既習事項を確認しながら，筆順に従って正しく書くことができる。  ○濁点と半濁点のつく文字の書き方を理解することができる。  ○拗音や促音の文字の書き方を理解することができる。 | 2 | ①平仮名を，既習事項を確認しながら，筆順に従って丁寧に書く。 | ○①の一部→これまでの平仮名の学習をふまえて，①の学習活動の一部を授業以外の場で行う。  【時間】0.5時間 |
| ②濁点や半濁点のつく文字の書き方を確認する。  ③拗音や促音の文字の大きさや書く位置を確認する。  ④自己評価・相互評価をする。 |
| ○せいかつにひろげよう  ・にっきをかこう  p.20～21  ◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)(イ)  【用具】鉛筆  ★他教科との関連：国語 | ○既習の平仮名の書き方を理解し，日記を書く場面で生かすことができる。  ○句読点やかぎの書き方を理解することができる。 | 1 | ①既習の平仮名の書き方を確認する。  ②句読点やかぎの書き方を確認する。  ③既習事項を生かして，日記を丁寧に書く。  ④自己評価・相互評価をする。 |  |
| ③かたかなのかきかた  ・「とめ」「はね」「はらい」と「おれ」「まがり」  p.22～23  ◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)(イ)  【用具】鉛筆・水書用筆 | ○片仮名の「止め」「はね」「払い」「折れ」「曲がり」の書き方を理解し，正しく書くことができる。 | 2 | ①片仮名の「止め」「はね」「払い」の書き方を確認する。  【点画の書き方】「止め」「はね」「払い」  ②「止め」「はね」「払い」の書き方に注意して，筆順に従って書く。  ③片仮名の「折れ」「曲がり」の書き方を確認する。  【点画の書き方】「折れ」「曲がり」  ④「折れ」「曲がり」の書き方をほかの文字に広げて，筆順に従って書く。  ⑤自己評価・相互評価をする。 |  |
| ③かたかなのかきかた  ・かたかなのひょう  p.24～25  ◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)(イ)  【用具】鉛筆・水書用筆 | ○片仮名を，既習事項を確認しながら，筆順に従って丁寧に書くことができる。  ○濁点と半濁点のある文字の書き方を理解することができる。  ○促音と長音符号の書き方を理解することができる。 | 2 | ①片仮名を，既習事項を確認しながら，筆順に従って丁寧に書く。 | ○①の一部→これまでの片仮名の学習をふまえて，①の学習活動の一部を授業以外の場で行う。  【時間】0.5時間 |
| ②濁点や半濁点のつく文字の書き方を確認する。  ③長音符号の文字の大きさや書く位置を確認する。  ④自己評価・相互評価をする。 |
| ○せいかつにひろげよう  ・なまえをかこう  p.26  ◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)(イ)  【用具】鉛筆・フェルトペンほか | ○既習の平仮名と片仮名の書き方を理解し，名前を書く場面で生かすことができる。  ○数字の書き方を理解することができる。 | 1 | ①平仮名と片仮名の書き方を確認する。  ②既習事項を生かして，名前を丁寧に書く。  ③自己評価・相互評価をする。 |  |
| ◇もじのいずみ  ・どうやって作るの　えんぴつ・けしゴム  p.27 | ○身近な鉛筆や消しゴムの作り方を知ることで，書写学習への興味を高めることができる。 | ― | ①鉛筆・消しゴムがどうやって作られているかを知り，書写学習に興味を持つ。 |  |
| ④かん字のかきかた  ・「とめ」「はね」「はらい」  p.28～29  ◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)(イ)  【用具】鉛筆・水書用筆 | ○漢字の「止め」「はね」「払い」の書き方を理解し，正しく書くことができる。 | 2 | ①漢字の「止め」「はね」「払い」の書き方を確認する。  【点画の書き方】「止め」「はね」「払い」  ②「止め」「はね」「払い」に通じる線の練習をする。 | ○③の一部→①②の学習活動をふまえて，③の学習活動の一部を授業以外の場で行う。  【時間】0.5時間 |
| ③「止め」「はね」「払い」の書き方をほかの文字に広げて，筆順に従って書く。 |
| ④自己評価・相互評価をする。 |
| ④かん字のかきかた  ・「おれ」「まがり」「そり」  p.30～31  ◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)(イ)  【用具】鉛筆・水書用筆 | ○漢字の「折れ」「曲がり」「反り」の書き方を理解し，正しく書くことができる。 | 2 | ①漢字の「折れ」「曲がり」「反り」の書き方を確認する。  【点画の書き方】「折れ」「曲がり」「反り」  ②「折れ」「曲がり」「反り」に通じる線の練習をする。 | ○③の一部→①②の学習活動をふまえて，③の学習活動の一部を授業以外の場で行う。  【時間】0.5時間 |
| ③「折れ」「曲がり」「反り」の書き方をほかの文字に広げて，筆順に従って書く。 |
| ④自己評価・相互評価をする。 |
| ◇もじのいずみ  ・かきぞめをしよう  p.32～33  ◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)(イ)  【用具】鉛筆（フェルトペン） | ○既習の平仮名，片仮名，漢字の書き方を理解して，書き初めを丁寧に書くことができる。 | 2 | ①既習事項を確認する。  ②文例を視写する。 | ○①で確認した既習の「書写のかぎ」を生かして，授業以外の場で②の学習活動に取り組む。  【時間】1時間 |
| ③既習事項を生かして，丁寧に書き初めをする。 |
| ④自己評価・相互評価をする。 |
| ◇もじのいずみ  ・かん字のはなし  p.34  ★他教科との関連：国語 | ○漢字の成り立ちを知って，漢字を書くことへの興味を高めることができる。 | ― | ①漢字の成り立ちを知り，書写学習に興味をもつ。 |  |
| ◇もじのいずみ  ・かいてあじわおう  〈「花さかじいさん」のうた〉  p.35  【用具】鉛筆  ★他教科との関連：国語 | ○既習事項を生かして，丁寧に書くことができる。 | ― | ①既習事項を生かして，我が国の言語文化に関する文章を丁寧に書く。 |  |
| ④かん字のかきかた  ・ひつじゅん  p.36～37  ◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)(イ)  【用具】鉛筆（フェルトペン） | ○筆順の原則を理解し，原則に従って正しく書くことができる。 | 2 | ①筆順の原則を確認する。  【書くときの動き】筆順の大原則（上から書く，左から書く） | ○②の一部→授業内で筆順を確認して書き，その学習をふまえて授業以外の場で繰り返し書く。  【時間】0.5時間 |
| ②筆順の原則をほかの文字に広げて，筆順に従って書く。 |
| ③自己評価・相互評価をする。 |
| ④かん字のかきかた  ・文字のかたち  p.38～39  ◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)(イ)(ウ)  【用具】鉛筆（フェルトペン） | ○外形の整え方を理解し，正しく整えて書くことができる。 | 2 | ①漢字の外形の整え方を確認する。  【字形】外形（真四角，縦長，横長） | ○②の一部→授業内で外形を確認して書き，その学習をふまえて授業以外の場で繰り返し書く。  【時間】0.5時間 |
| ②漢字の外形に注意して，筆順に従って書く。 |
| ③平仮名と片仮名の外形の整え方をほかの文字に広げて，筆順に従って書く。  ④自己評価・相互評価をする。 |
| ④かん字のかきかた  ・かくのながさとむき  p.40～41  ◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)(イ)(ウ)  【用具】鉛筆（フェルトペン） | ○画の長さの違いに気をつけて書くことができる。  ○画の方向の違いに気をつけて書くことができる。 | 2 | ①画の長さに注意して文字を書くことを確認する。  【字形】画の長さ | ○②の一部→授業内で画の長さを確認して書き，その学習をふまえて授業以外の場で繰り返し書く。  ○④の一部→授業内で画の方向を確認して書き，その学習をふまえて授業以外の場で繰り返し書く。  【時間】0.5時間 |
| ②画の長さに注意して，筆順に従って書く。 |
| ③画の方向に注意して文字を書くことを確認する。  【字形】画の方向 |
| ④画の方向に注意して，筆順に従って書く。 |
| ⑤自己評価・相互評価をする。 |
| ○学びを生かそう  ・一年生のまとめ  p.42～43  ◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)(イ)(ウ)  【用具】鉛筆  ★他教科との関連：国語 | ○自分のめあてを持ち，既習事項を生かして，正しく整えて書くことができる。 | 2 | ①１年間の既習事項を確認する。  【点画の書き方】  ●平仮名：始筆・終筆（「止め」「払い」）「曲がり」「折れ」「結び」  ●片仮名：「止め」「払い」「はね」「折れ」「曲がり」  ●漢字：「止め」「払い」「はね」「折れ」「曲がり」「反り  【書くときの動き】筆順の大原則（上から書く，左から書く）  【字形】外形，画の長さ，画の方向  ②既習事項の中から，自分のめあてを立てる。  ③自分の立てためあてに注意して書く。  ④自己評価・相互評価をする。 |  |
| ○学びを生かそう  ・できるようになったよ  p.44～45  ◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)(イ)(ウ)  【用具】鉛筆・フェルトペンほか  ★他教科との関連：国語，生活 | ○既習事項を理解し，文章を書く場面で生かすことができる。 | 1 | ①１年間の既習事項を確認する。 | ○①で確認した既習の「書写のかぎ」を生かして，授業以外の場で②の学習活動に取り組む。  【時間】0.5時間 |
| ②既習事項を生かしながら，自分ができるようになったことを紹介する文章やカードなどを丁寧に書く。 |
| ③自己評価・相互評価をする。 |